

第一部 宗教と身心変容技法

- 身心変容技法の起源とその展開に関する試論——鎌田東二……3
アピラのテレジアの「身心変容」の諸相——「内感」とその行方——鶴岡賀雄……20
身心変容技法としての掃除論——町田宗鳳……29
応用キネシオロジーの世界——オリンピックテストは擬似科学か——棚次正和……37
社会的身心の再考——ベルクソン他の素人読みから——津城寛文……47
竜のヨーギ——ドゥクパカギユ派の聖なる快樂のヨーガ——永沢 哲……52

第二部 心と身体ワザ学

- 心理療法の効果と身心の変容——河合俊雄・長谷川千紘……62
研究ノート・身体に住み込む、身体から旅立つ——井上ウイマラ……67
身心変容技法はなぜわかりにくいのか——太極拳を事例に——倉島 哲……75
まぶさび系色彩論——篠原資明……79
身体的自己と他者理解を可能にする神経機構——乾 敏郎……83

第三部 意識変容、瞑想とシャーマニズム

- 仏教における瞑想とその展開——蓑輪顕量……87
スーフィズムにおける身心変容技法——鎌田 繁……97
シャーマン太鼓の身心変容力——アルタンジョヨラー……106
神と演じる劇的空間——神事芸能と身心変容技法——木村はるみ……113
苔の行、あるいは身心変容技法——羽黒修験・秋の峰に関する身体論的考察——奥井 遼……123

第四部 教育と心理臨床におけるワザ

- わざの学習・学習のわざ——タクトを手がかりに——鈴木晶子……132
「関係」をめぐる攻防——「わざ」の継承を支える「三者関係」——川口陽徳……140
「吾に辱見せつ」を考える——物言わぬ皇子ホムチワケの反英雄のイニシエーション・モデルを手がかりとして——高見友理……151
資料——第二回研究会・国際シンポジウムのポスター……160

研究会の構成メンバー

- 【研究代表者】 鎌田東二 (京都大学こころの未来研究センター教授/宗教学/民俗学)
【研究分担者】 鶴岡賀雄 (東京大学大学院人文社会系研究科教授/宗教学/キリスト教神秘主義研究)
町田宗鳳 (広島大学大学院総合科学研究科教授/比較宗教学/仏教研究)
棚次正和 (京都府立医科大学大学院教授/宗教学/祈り研究)
津城寛文 (筑波大学大学院哲学思想系教授/宗教学/神道法研究)
井上ウイマラ (高野山大学文学部准教授/スピリチュアルケア学/仏教瞑想研究)
倉島 哲 (関西学院大学社会学部准教授/社会学/身体論)
篠原資明 (京都大学大学院人間・環境学研究科教授/美学/まぶさび瞑想)
河合俊雄 (京都大学こころの未来研究センター教授/臨床心理学/ユング研究)
齋木 潤 (京都大学大学院人間・環境学研究科教授/認知科学)
乾 敏郎 (京都大学大学院情報科学研究科教授/認知神経科学)
【連携研究者】 高橋英彦 (京都大学大学院医学研究科准教授/精神医学/脳科学)
吉川左紀子 (京都大学こころの未来研究センター長/認知心理学)
【研究協力者】 西平 直 (京都大学大学院教育学研究科教授/教育人間学/教育哲学/臨床教育学)
やまだようこ (京都大学名誉教授/立命館大学特別招聘教授/生涯発達心理学/ナラティヴ心理学)
小倉紀蔵 (京都大学大学院人間・環境学研究科教授/韓国儒教研究)
中川吉晴 (同志社大学社会学部教授/ホリスティック教育学/臨床教育学)
熊谷誠慈 (京都女子大学発達教育学部専任講師/京都大学こころの未来研究センター特任准教授/仏教学/チャット学)
永澤 哲 (京都文教大学総合社会学部准教授/宗教学/チャット仏教学)
村川治彦 (関西大学人間健康学部人間健康学科准教授/身体教育学/応用健康科学)
河村博重 (観世流能楽師・京都造形芸術大学客員教授)
木村はるみ (山梨大学准教授/体育学/舞踊学)
松嶋 健 (京都大学人文学研究所研究員/医療人類学)
藤守 創 (神戸大学医学研究科博士課程、パリ第1大学ソルボンヌ、パリ大学科学史科学哲学研究所博士課程)
中野民夫 (同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/フアシリテーション論)
【幹事】 奥井 遼 (京都大学こころの未来研究センター上廣こころ学研究部門特定研究員/教育学)
長谷川千紘 (京都大学こころの未来研究センター上廣こころ学研究部門特定研究員/臨床心理学)

編集後記

◆正月に山形県の出羽三山神社(羽黒山)の松例祭、節分に奈良県吉野郡天川村の天河大辨財天社の鬼の宿・節分祭・立春祭のフィールドワークを行った。両方とも修験道の聖地・霊場・修行場である。羽黒では例年どおり深雪だったが、天河ではまったく四月のような陽気。いつもなら、必ず雪が降るか、積もるかしているのに。「身心変容」ではなく、地球の「気象変容」が気にかかる。そのような「気象変容」が突然変異や進化などの「身心変容」を生み出すかもしれないと予感している。(鎌田東二)
◆締め切りが迫る中、「超特急」で刊行まで駆け抜けた先生方のお仕事に、圧巻の身心変容技法を感じた。というのも、昨年末、角膜炎ができて両目の視力が一時的に著しく低下し、研究会を含むすべての仕事を中断させられたとき、私はいかんともしがたく「各駅停車」で走る身体に向き合わされたからである。ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、助けてくださったみなさまに心より感謝申し上げます。(奥井 遼)
◆本誌には仏教、修験道、キリスト教、スーフィズム、モンゴルのシャーマニズムなど世界各地、各宗教の身心変容技法が登場する。それを読んでみると、いったい世界にはどれだけ身心変容技法があるのだろうかという目がくらむ思いがする。短期間で集中的に編集作業を続けているとわが身心も変容を来す気がするが、この変容では身心は高い次元に至ることはないだろう。今回は梁根千夏子さんという強力な助っ人のおかげで何とか間に合わせる事ができた。梁根さん、ありがとう。(原 章)

身心変容技法研究 第2号

科研基盤研究(A)
「身心変容技法の比較宗教学——心と体とモノをつなぐワザの総合的研究」(課題番号23242006)

発行日 二〇一三年三月二九日
発行 京都大学こころの未来研究センター 身心変容技法研究会
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46
京都大学稲盛財団記念館内 電話075-753-9670
http://waza-sophia.cocan.jp/
表紙画像 出羽三山神社 撮影・鎌田東二
編集 編集工房レイヴン 原 章
デザイン 鷲草デザイン事務所 尾崎閑也
印刷 NPCコーポレーション